

11月に入り、朝晩の冷え込みが日ごと増してきました。西日本ではインフルエンザの流行が始まっているようです。体調管理を怠らず、月末の定期考査に向かってしっかり学習に取り組んでいきましょう。また、今月10日には創立120周年記念式典が開催されます。「歴史と伝統」が現在の宮一を生を支えているということを実感できる、よい機会です。先輩方の思いをしっかり受けとめる式典にしてもらいたいと思います。

CCI (コスモス・カレッジ・インターンシップ) ・学ぶ意義を考える

CCI (コスモス・カレッジ・インターンシップ) の感想文を紹介してきましたが、今回で最終回となります。講義を通して、それぞれの分野への関心を深めたり、進路についての考え方が変わったりと、多くの生徒が、よい刺激を受けたようです。生徒の皆さんが何を学び考えたか、ぜひ一読してみてください。

No.	学問系統	講師(敬称略)	所属等	講義タイトル
13	物理学・天文学	土佐 誠	仙台市天文台台長	「～宇宙の探求～」
14	地球環境学	福田 義和	仙台管区気象台地球環境・海洋課 主任技術専門官	「地球環境の変化 ～地球温暖化、気候変動、そして海洋の変化～」
15	機械工学	船崎 健一	岩手大学理工学部システム創成工学科教授	「航空宇宙分野における研究開発の現状と日本」
16	電気通信工学	藤本 忠博	岩手大学理工学部システム創成工学科教授	「コンピュータグラフィックスの基礎と応用」
17	土木建築工学	石井 敏	東北工業大学工学部建築学科教授	「北欧フィンランドの暮らしと建築 ～北欧型社会福祉からみる「豊かさ」の再考～」
18	農学・生物学	川嶋 舟	東京農業大学農学部バイオテクノロジー学科 准教授	「デザイン農学の誕生！！：バイオテクノロジーから訪問かいこまで」

13 物理学・天文学 最近進路について迷うことが多かったため、今日の講義からたくさんの刺激を受けることができました。まずは、天文学を職業にすることです。私は最近までずっと研究者になろうと思っていましたが、今日、学芸員という選択肢があることを知り、新たな可能性を見出せました。(中略)今日の講義で、なぜ人工衛星は落ちないのかというお話を聞いた時、今まで自分が目を向けたことがなかった話題だったので驚きました。そして、どんなことでも疑問を持ち、理解することが大切だと思いました。今後の生活では、常に周りの現象に対して疑問点を探していきたいと思います。(後略) (2年次理数科)

14 地球環境学 (前略) 海面水位の変化の説明と、地球温暖化とヒートアイランドの関わりの説明の中で、場所によって温度の変化が異なるという内容が大変面白く、もっと知りたいと思いました。仙台と石巻のグラフの変化では、少し離れただけなのに大きな違いがでることに驚きました。最近の日本の異常気象や気温の高い日々が続いているのは、これらが関わっているということに気づくことができました。ここ2年でほぼ一定であった気温が上昇してしまったという事実はしっかりと受け止めないといけないと思いました。今問題となっていることへの対策を考えるためには、今どうなっているのか、客観的な事実をまず出すことが大切というお話に感心しました。地球環境についてはまだまだ分かっていないこともあるらしいので、気象庁のサイトやIPCCのサイトを見て最新情報を手に入れて行きたいです。(1年次理数科)

15 機械工学 (前略)「流体と聞いたら渦を思い出す」という先生のお話を聞いた時、とても不思議でしたが、台風や竜巻を例にあげて説明していただき、よく理解できました。そのような渦が飛行機にも現れることにととてもびっくりしました。渦が白っぽく見えるのは、圧力がかかり、凝縮して白く見えるということを初めて知りました。今後の勉強にも役に立つものばかりで嬉しかったです。そして流体は人工心臓にも関係していることに驚きました。人の命に関わるようなものを作っていて絶対にミスは許されないのだと思いました。先生のおっしゃっていた「機械工学は数学と情報を駆使することがとても大事」というお話を忘れずにいようと思います。先生は英語がすごくできると聞きましたが、自分は英語が苦手な数学ばかりしていたので、将来、先生のように外国へ行ったときに苦労しないように、これから英語も頑張ろうと思います。(後略) (1年次理数科)



16 電気通信工学 今回はコンピュータグラフィックスについての講義ありがとうございました。サービスやエンターテイメントへの活用はもちろんのこと、ビジネスや災害への対応、状況の判断等多岐にわたる活用方法に将来への大きな可能性を感じました。私は将来、人工知能についての研究・開発をしたいと考えていたのでコンピュータグラフィックスは近くても遠い存在だと思っていたのですが、画像の認識技術や自動合成、ノイズの除去など、応用できる場所は多いと思いました。(後略) (2年次理数科)

17 土木建築工学 地理の授業でフィンランドに興味をもったので、興味のある建築の分野とあわせていくことができよかったです。建築を学ぶにあたって、地域との結びつきや、その特色を生かした構想があるのだと知り、(中略)視野を広げていただきました。この分野には、土木工学、建築工学があると思っていましたが建築は「建築学」という分野で存在しており、文理を問わない学問であることを再確認しました。建築の4要素である「用」・「強」・「美」・「快」について、今回とても深く学べたと感じました。特に「用」・「美」の面で、フィンランドの特徴である森と湖の豊かさと建築との調和は、豊かさの国別ランキングで上位に入るほど実践されているのだと思います。(中略)建築物を作るのにお金は必要ですが、その域を超えて建築物が人々にもたらすプライスレスなもの、例えば温かみや笑顔をもたらすデザインはこの学問がつくれる「豊かさ」なのだと思います。(2年次普通科)

18 農学・生物学 川島先生の講義を受けて「バイオミクリー (バイオミメティクス)」が面白いと思いました。ダンゴムシが丸くなる性質を利用して個人の一定の空間を保つ椅子を作ったり、カタツムリの性質を利用して汚れないタイルを作ったりなど、私たちの生活の身近なところでも役立っている技術があるのだということを学びました。生物の性質を利用したものは、ほかに、痛くない注射針、タマムシの光る性質を利用した塗料を使わずに自然の力で発色させる技術などがありました。私たちが普段当たり前に使っていたり便利だと思ったりしているものや技術の元が、生き物たちであることも多いということを初めて知りました。また、農業と福祉を掛け合わせた農福連携の「訪問かいこ」をおもしろいと思いました。かいこを飼うことが高齢者の生きがいとなり、それに合わせて高齢者の生活リズムもできてくる。福祉に役立ち、かいこからできる繭を化粧品メーカーなどに買い取ってもらえて利益もあがる、素晴らしい事業だと思いました。(後略) (1年次理数科)